注目！訪問自費サービス　015

Journey Rehab

田中光

代表



080-6344-4578

journeyrehab.net

千葉県松戸市松戸1228-1
松戸ステーションビル 5F

ビジョン

「すべての人が、その人らしい人生を歩み続けられるように」という理念のもと、
リハビリの視点から支援を行い、より良い社会の実現を目指しています。

「退院後もリハビリを続けたい」「もう一度、趣味や外出を楽しみたい」。脳卒中・パーキンソン病を抱え、保険内のサービスだけでは希望するリハビリを十分に受けられない「リハビリ難民」の方々がいます。その思いに寄り添うのが、東京23区と千葉県北西部を中心に自費訪問リハビリを提供するJourney Rehabです。代表で作業療法士の田中光さんに、介護保険との併用や料金、一人ひとりの目標に合わせた訓練、自宅や老人ホームでの支援について伺いました。歩行支援ロボットの活用から、予防と機能回復をつなぐ展望まで。「自分らしい人生」を支える保険外リハビリの可能性と、利用を検討する際に知っておきたい情報をお届けします(2026年10月取材)。

脳卒中・パーキンソン病の歩行を支援するロボット活用と健康経営への挑戦

歩行をアシストする新機材「Hypershell（ハイパーシェル）」について、こちらはどのような目的で作られたものなのですか？



実はこれ、もともとは登山をする方向けに開発された外骨格ロボットなんです。山登りを楽にアシストするためのデバイスだったのですが、これがリハビリの現場でも非常に効果的だと業界で注目を集めるようになりました。
歩く時に足の振り出しを強力に補助してくれるので、少し歩けなくなってしまった方が再び歩けるようになったり、お出かけできる範囲がぐっと広がったりする可能性を秘めた、とても素晴らしい機材なんです。

実際に利用されている方に対して、どんな効果や反響がありましたか？



6月末に体験サービスを開始して以来、すでに多くの方に体験いただいています。脳卒中で片麻痺になられた方、パーキンソン病や脊髄系の難病をお持ちの方、あるいはご高齢で足腰が弱ってしまった方など、本当にさまざまです。
実際に使われた方からは、「長距離を歩くのがしんどかったけれど、ものすごく楽になった」「坂道や階段を昇る時のアシストがしっかりしていて助かる」といった嬉しいお声をいただいています。また、「歩行速度が上がって、一緒に歩く家族と歩幅を合わせられるようになった」という感想もありました。ご本人の行動範囲が広がることで、ご家族も一緒に笑顔になれるのが本当に嬉しいですね。

こちらはレンタルではなく、購入して使うものなのでしょうか？

はい、医療機器ではなく日々の生活の中でご自身で装着して使っていただくものなので、利用者様にご購入いただいています。価格は一番安価なモデルで14万円ほどです。

ただ、気をつけていただきたいのは、この機材が本当にその方の身体や歩き方に合っているかどうかを見極める必要があるという点です。私たち理学療法士や作業療法士といった専門職がしっかりと身体評価を行い、正しいフィッティングをすることが欠かせません。私たち専門家がサポートに入り、こうしたテクノロジーを安全に活用していただくことで、「もう一度歩きたい」と願う方々の新たな選択肢として、もっと世の中に広まっていってほしいと思っています。



もう一つ、まったく別のアプローチとして企業向けの「健康経営支援」もスタートされたと伺いましたが、詳しい内容を聞かせてください。



こちらは自費リハビリのような「病気になった後」のサポートではなく、そもそも病気にならないための「予防」のアプローチになります。この新たな取り組みを実際に企業へ導入していくにあたり、今年の2月に松戸市のビジネスコンテストで優秀賞を受賞した際のご縁が大きなきっかけとなりました。現在、そのつながりから製造業、運送業などの計3社様に、モデル企業としてテスト導入していただいています。
まずは従業員の方一人ひとりにアンケートを実施し、柔軟性や握力などの身体評価を行います。そのデータをもとに「こういう体操や運動を取り入れたほうがいいですよ」と、月に1回ほど、私ともう一人の作業療法士のスタッフの2名体制で指導に入らせていただいています。

実際に企業に入ってみて、従業員の方や経営者様からはどのような声が寄せられていますか？また、今後の展開をどのように考えていらっしゃいますか？



従業員の方からすると、会社の福利厚生として無料で専門的な身体評価やストレッチ、パーソナルトレーニングを受けられるようなものなので、「すごくいいね！」と現場でも大変好評をいただいています。 経営者様にとっても、社員の皆様が肩こりや腰痛を抱えたままでは労働パフォーマンスが下がってしまいますし、万が一ヘルニアなどで離職されてしまうと会社にとって本当に大きな損失になります。
そういった未来のリスクを未然に防ぎ、「大切な社員を守りたい」という経営者様の想いに寄り添える、とても価値のあるサービスだと手応えを感じています。今後はこのモデル企業様での成果をしっかりと実証しながら、松戸市から千葉県全域へと、働く皆さんの健康を守る取り組みを広げていきたいですね。

リハビリ難民を支えるために｜予防から機能回復まで途切れない支援を目指す

現在もリハビリ難民という課題は深刻ですが、今後どのように解決していきたいとお考えですか？....

続きはQRコードからアクセスしてください　→ → →

おうち de 医療

在宅医療com株式会社
〒107-0062　東京都港区南青山3-1-36青山丸竹ビル6F
service@zaita9iryou.com